

令和元年(2019年) 6月 市議会要望等事項

令和年	月	定例臨時の別	議会の種別	担当部	担当課	議員名	要望事項	答弁(要点記述)	説明・問題点・今後の方針	処理状況	未済の場合その処理状況
元	6	定例	本会議	企画経営部	財政課	大川議員	伊丹市のように基金の方針を作成すべき。	投資的事業、市債の管理、基金の管理等の項目の規範や数値目標について、財政規律の内容を検討しているところである。	今年度内を目的に、財政規律の内容を検討していく。	未済	令和2年3月31日までに検討予定。
元	6	定例	総務常任委員会	企画経営部	財政課	藤岡議員	基金についての方針を作成すべき。	投資的事業、市債の管理、基金の管理等の項目の規範や数値目標について、財政規律の内容を検討しているところである。	今年度内を目的に、財政規律の内容を検討していく。	未済	令和2年3月31日までに検討予定。
元	6	定例	本会議	市民交流部	国民健康保険課	田中こう議員	国民健康保険の一部負担金減免について、申請手続きが厳しく、提出する給与明細書等の様式も見直しが必要でないかと思う。減免を必要とする方にとって申請しやすい制度にしてほしい。	申請手続きの簡素化に向けて、他市の取り扱いや国の通知も参考に、取扱要綱や申請書類の見直しを検討する。	答弁に同じ	未済	今年度中のできるだけ早い時期に見直しを行う予定。
元	6	定例	本会議	総務部	管財課	山本議員	市庁舎に郵便局とコンビニを設置できないか要望する。	切手やはがきを販売していた市遺族会が経営難から閉店したことや、庁舎周辺には、すでにスパーやコンビニがあること、庁内の出店スペースが狭いことなどから、郵便局やコンビニの設置は難しいと考えている。また、市庁舎グラウンドフロアでは、昼休みを中心に障害者団体などによる自主製品の販売が行われており、今後もその活動を支援していく。	答弁に同じ	済	

令和元年(2019年) 6月 市議会要望等事項

令和年	月	定例臨時の別	議会の種別	担当部	担当課	議員名	要望事項	答弁(要旨記述)	説明・課題・問題点・今後の方針	処理状況	未済の場合その処理状況
元	6	定例	本会議	総務部	給与労務課	村松議員	災害時の避難所運営に従事する職員が、通常の交通手段では登庁できず自家用車やタクシーを利用して登庁した場合、職員に対してその実費を弁償することを検討すること。	答弁不要	大型台風接近時等における自主避難場所等は、本市への台風等の影響が少ない段階で開設し、午後6時以降は開設しないこととしている。避難所運営に従事する職員が、タクシーで登庁することは想定していない。また、地震等突発的な災害により避難所を開設する場合も、その時点で登庁している職員により対応することを想定しており、避難所開設のため職員がタクシーで登庁することは想定していない。 なお、自家用車で登庁した職員に対する市役所駐車場の使用料は免除している。	済	同左
元	6	定例	本会議	総務部	人権男女共同参画課	北野議員	「宝塚市パートナーシップの官署の取扱いに関する要綱」について、同性同士であることとなっているが、より広くLGBTsの方に利用いただくため、異性間であっても利用できるよう取められないか。 また、A4の受領証を発行しているが、大阪市などは電子サインを選べる免許証サイズのカードを発行している。本市も検討できないか。	本市は全国で4番目に制度を導入しており、今年で3年が経過した。制度導入自体も増え、本市の制度より対象を広く定義するものが主流となってきた。他市の事例を調査し多様なニーズに対応できるより良い制度となるよう改正について検討する。カードタイプの受領証については、現在内務部でもその必要性を検討しているところであり、今後、導入について検討する。	答弁と同じ	未済	7月～8月に他市の状況を調査し宝塚市人権教育及び人権啓発推進検討会を経て年度内に改正をめざす。
元	6	定例	本会議	都市安全部	防犯交通安全課	村松議員	交通安全啓発看板の設置状況を台帳で管理すべきである。	看板の設置場所、設置時期などの詳細について、今後台帳で管理する。	令和元年7月設置分から台帳で管理する。	済	

令和元年(2019年) 6月 市議会要望等事項

令和元年	6月	定例臨時の別	議会の種別	担当部	担当課	議員名	要望事項	答弁(要点記述)	説明・問題点・今後の方針	処理状況	未済の場合その処理状況
元	6	定例	本会議	都市安全部	防犯交通安全課	村松議員	西宮市のように本市も自転車事故マップを作成すべきである。	市域全体を対象とした自転車事故マップの作成ができないか、宝塚警察署と協議し検討する。	答弁に同じ 情報政策課と協議を行った結果、伊丹市の事例を参考にウェブマップの作成を検討する。今後、宝塚警察署と協議する。	未済	7月以降、ウェブマップ提供方法等について宝塚警察署と協議する。
元	6	定例	本会議	都市安全部	道路管理課	くわはら議員	清荒神参道の有馬街道より雨樋の駅までの区間において、一部が波打っており、雨の日は滑る。計画的な補修をすべきである。	答弁不要	今後、補修計画について検討する。	未済	同左
元	6	定例	本会議	都市安全部	道路管理課	川口議員	市民参加型の会となるよう「宝塚市通学路交通安全推進会議」の構成員に自治会役員、まち協や民生委員のメンバーを加えるべきである。	答弁不要	今後、地域の代表者にご参加いただき、ご意見をいただくことについて、検討していきたい。	未済	同左
元	6	定例	本会議	都市整備部	住まい政策課	どなき議員	市営住宅の畳・障子・ふすま等の修繕は、市負担とすべきである。	民法改正により貸主の原状回復義務について明文化されたことから、公営住宅における取扱いについて周辺自治体の状況も勘案し、引き続き検討していく。 入居中の修繕負担区分については、修繕における課題が多いことから、調査・研究をしていく。	答弁に同じ	未済	周辺自治体において、現在のどこまで原直しを行う自治体はない。 引き続き情報政策課を行い、改正民法施行日(令和2年4月1日)までに対応できるかを検討する。

令和元年(2019年) 6月市議会要望等事項

令和元年	月	定例臨時の別	議会の種別	担当部	担当課	議員名	要望事項	答弁(要点記述)	説明課題、問題点、今後の方針	処理状況	未済の場合その処理状況
元	6	定例	本会議	都市整備部	住まい政策課	江原議員	市営住宅における保証人制度が家賃滞納の担保として活かされていない現状について、見直しをすべきでないか。	情報収集を行い、公営住宅における保証人制度がどうあるべきか検討していく。	民法改正の影響とともに、家賃債務保証会社の活用も含め検討する。	未済	周辺自治体においては、保証人制度を廃止した自治体もある。引き続き情報収集を行い、改正民法施行日(令和2年4月1日)までに対応できるよう検討する。
元	6	定例	本会議	健康福祉部	高齢福祉課	江原議員	高齢者バス・タクシー一助成において、鉄道利用も可能にして欲しいと考えているが、市民の動向を知るためにもアンケート等を実施できないか。	次期の地域包括ケア推進プラン策定のためのアンケートを実施する予定としており、その中で高齢者の外出についての項目を設けることとする。	答弁と同じ	未済	地域包括ケア推進プラン策定に際してアンケートを実施する。
元	6	定例	本会議	健康福祉部	健康推進課	江原議員	県に対し(これまで実施要望している)医療用ウイック購入費用の一部助成制度の創設を、引き続き要望すること。	引き続き県に対し、がん対策の一環として、医療用ウイックの購入費用の助成制度の創設を要望する。	過去2回、同様の質問をいただき、それを受けて、平成30年度及び31年度の予算編成に係る県政要望を行ったが、県からは、「国、他府県、及び県内市町等の動向を注視する」とともに、「財源及び事務量等勘案しながら、引き続き検討する」との回答をもらっている。	未済	令和2年度の予算編成に係る県政要望を行う予定。
元	6	定例	健康福祉部 子ども未来部	障害福祉課 健康推進課 せいかつ支援課 子ども政策課	藤岡議員	まずは、0歳から18歳までを対象とした子ども家庭総合支援拠点整備を進める一方で、他市の事例のような、18歳以上を対象に、成人して自立するまでの相談支援体制もあわせて検討を要望する。	答弁不要	まずは、子ども家庭総合支援拠点整備に向けた検討を進めることとする。一方で、18歳以上の家庭の多様な困難課題の相談支援の体制や連携のあり方について、他市の事例も参考に研究、検討していく。	未済	相談支援体制について、庁内関係部署との協議を進めている。	

令和年	月	定例臨時の別	議会の種別	担当部	担当課	議員名	要望事項	答弁(要点記述)	説明・問題点・今後の方針	処理状況	未済の場合その処理状況
元	6	定例	本会議	子ども未来部	子ども政策課	村松議員	子ども家庭総合支援拠点の整備について早急に対応すべきである。	他市の事例を参考に、令和元年度中に策定するたからっ子育てプラン後期計画に子ども家庭総合支援拠点の整備を盛り込む方向で検討していく。	答弁に同じ	未済	令和元年度までに子ども家庭総合支援拠点を整備することを検討していく。
元	6	定例	本会議	子ども未来部	子ども政策課	浅谷議員	宝塚市子ども条例において「体罰禁止」の明文化を検討すべきである。	答弁不要	理念条例である子ども条例において、差別や暴力を受けないことなどを踏まえた子どもの権利に関して整理されていることから、今後も啓発に努めていく。	済	
元	6	定例	本会議	子ども未来部	保育企画課	川口議員	液体ミルクについて保育所でも保護者へ備蓄するように勤めてほしい。	答弁不要	液体ミルクを勤めることは、液体ミルクを販売している会社が2社と限定されており、特定の商品を選べることになるため難しいが、各保育所の保護者から人工乳の災害時の備えなどのご相談を受けた場合には、液体ミルクについても情報提供していく。	済	
元	6	定例	本会議	子ども未来部	保育事業課	三宅議員	各保育所において保育士確保に大変苦慮していると聞いている。早急に保育士確保施策を実施すべきである。	宝塚私立保育園連盟と共催で、就職フェアや早学パスツア一などの取組を進めている。引き続き、私立保育所と連携を図り保育士確保に努めていく。	確保策に取り組んでいるが、保育士不足は解消されていないので、他市同様に国の補助メニューの導入を検討する。	未済	早急に予算化に向けた検討を行う。

令和元年(2019年) 6月 市議会要望等事項

令和年	月	定例臨時の別	議会の種別	担当部	子ども未 来部	担当課	議員名	要望事項	答弁(要点記述)	説明 課題、問題点、今後の方針	処理 状況	未済の場合、その処理状況
元	6	定例	本会議	子ども未 来部	保育事 業課	寺本議 員	休日保育のニーズが年々増加していること を踏まえて、さらなる充実を図るべきである。	利用実績は年々増加していることから、空 家子どもも、子育て支援事業後期計画にお いて、ニーズを見極めて必要箇所数について 計画に盛り込んでいく。	休日保育実施は、人員の確保や施設管理 の観点から事業者にとっては大きな負担とな る。	未済	子ども、子育て支援事業後期計画 策定に向けたニーズ調査結果に基づ いて検討する。	
元	6	定例	本会議	子ども未 来部	青少年 課	寺本議 員	地域児童育成会の延長保育について、そ れぞれの育成会において、1人でも希望があ れば実施してほしい。	現在は、人数が少ないと集団としての保育 が出来ないことと、配置する職員の人員費や 光熱水費の負担が大きいことから、1育成会 当たり5人以上の場合に実施することとして いる。 今後についても、現在と同様の運用を予定 しているが、他市の状況も踏まえ研究してい く。	答弁に同じ	未済	他市の状況を注視していく。	
元	6	定例	本会議	子ども未 来部	青少年 課	寺本議 員	地域児童育成会の長期学校休業中の保育 開始時間を早めてほしい。	現在は、小学校の始業時間に合わせて、午 前8時30分に育成会を閉所し児童の受入れ を行っている。現在より早い時間から受け入 れられた場合、受け入れ準備を含めて早朝 から出勤する職員の確保、施設を管理する 小学校との調整といった課題を整理する必要 がある。 今後についても、現在と同様の運用を予定 しているが、他市の状況も踏まえ研究してい く。	答弁に同じ	未済	他市の状況を注視していく。	
元	6	定例	本会議	環境部	環境政 策課 管理課	寺本議 員	海洋環境汚染につながるプラスチックごみ 対策について、みんなが考え始め、機運が高 まっている。この機会に、イベントなどを通じ て啓発活動に努めてもらいたい。	市ホームページやイベント等を通じて啓発 に取り組みたいと考えている。	答弁に同じ	未済	啓発の方法等について検討中。	

令和元 年	月	定例 臨時の別	議会の 種別	担当部	担当課	議員名	要望事項	答弁(要点記述)	説明 課題、問題点・今後の方針	処理状況	未済の場合 その処理状況
元	6	定例	本会議	環境部	業務課	江原議員	環境省が今年の夏から高齢者のごみ出し支援についてモデル事業を行い、自治体向けにガイドラインを作ることにしている。現場の職員に聞くと、これ以上集めるには人も車も足りないと言っている。本市もきずな事業をこのまま直営で行うべきかも含めてしっかり研究するよう要望しておく。	答弁不要	介護施設などへのアンケート、聞き取りにより、今後の需要予想を行い、必要車両台数、人員等について、収業全体の体制も含めて検討していく。	未済	アンケート調査を予定。 収業全体の体制も含め検討する。
元	6	定例	本会議	産業文化部	商工勤労課	梶川議員	市内事業所における外国人労働者の労働実態について、市も把握に努めるとともに、時間外労働や年次有給休暇などに関する労働者の権利について、外国人労働者に対して丁寧な説明し、その遵守に努めるよう、市内事業者に働きかけるべきである。	答弁不要	今後、外国人労働者と市内事業所双方から聞き取りを行い、その事実確認に努めるとともに、外国人も含めたすべての労働者に対する労働関係法令などの丁寧な説明の機会を求めたい。 労働関係法令の遵守については、本市に正働告などの権限はないため、必要に応じ労働基準監督署とも連携していく。	未済	市内事業所の実態把握については、本年度中に対応していく。
元	6	定例	本会議	産業文化部	文化政策課	藤岡議員	ストリートピアノを人の往来のある場所に設置してほしい。	ストリートピアノの実現に当たっては、設置場所の調整や管理方法、ピアノの確保や維持費用などの課題があり、市民の方々や団体などによる設置に向けた活動を支援している他都市の事例なども参考にしながら研究していく。	答弁と同じ	未済	駅前商業施設などへの設置の可能性について構築していく。
元	6	定例	本会議	産業文化部	文化政策課	梶川議員	とむにいきる宝塚のきずなの家としての補助が、本年10月末をもって終了する。新たな枠組みで支援継続するべきである。	外国人市民への支援活動について、今後市として支援するかどうか検討していく。	今後、増加していく外国人市民への支援をより効果的に行う方法として、新たな枠組みでの支援継続が適切かどうか検討が必要。	未済	令和2年度以降の予算編成に留意して検討していく。

令和年	月	定例臨時の別	議会の種別	担当部	担当課	議員名	要望事項	答弁(要点記述)	説明課題・問題点・今後の方針	処理状況	未済の場合その処理状況
元	6	定例	本会議	選挙管理委員会事務局	選挙管理委員会事務局	藤岡議員	アピアに期日前投票所を設置するべきである。逆瀬川駅は、乗降客も多く、バス路線の結節点でもあり、地元の方々からの要望もある。効果が大きいと思われるので検討してほしい。	これまでも検討・協議したが、投票の秘密の確保、衆議院の解散総選挙などの急な選挙への対応、二重投票防止のためのオンラインの敷設、投票用紙等の保管など、課題が多い。	答弁と同じ	未済	期日前投票の増加など有権者の投票行動は変化しつつある。一方、国では、郵便による投票の対象者の要件緩和等について検討されている。こうした環境変化に注視し、全体的な視点から、中期的課題として検討する。
元	6	定例	本会議	選挙管理委員会事務局	選挙管理委員会事務局	北山議員	期日前投票をする有権者が増え続けている。期日前投票所は、左岸側に4箇所、右岸側は市役所とさくらに2箇所の設置を希望している。逆瀬川駅前における期日前投票所の設置を検討してほしい。	答弁不要	これまでも検討・協議したが、投票の秘密の確保、衆議院の解散総選挙などの急な選挙への対応、二重投票防止のためのオンラインの敷設、投票用紙等の保管など、課題が多い。	未済	期日前投票の増加など有権者の投票行動は変化しつつある。一方、国では、郵便による投票の対象者の要件緩和等について検討されている。こうした環境変化に注視し、全体的な視点から、中期的課題として検討する。
元	6	定例	本会議	管理部	施設課	北野議員	宝塚第一小学校、長尾中学校のプレハブ校舎での猛暑対策を行うべきである。	長尾中学校では、本年度、本校舎の全館空調設備の個別空調化に合わせて、プレハブ校舎様の空調設備を更新する。また、宝塚第一小学校では、昨年度にプレハブ校舎棟の一部の空調機器の不具合を修繕した。	済		
元	6	定例	本会議	管理部	学事課	北野議員	学校統合計画は、ハード面ともにより良い「学校」となれば成功しない。そのためには、しっかりとした予算措置も必要と考えている。	答弁不要	学校統合準備会で検討するとともに、統合に必要な予算の確保に向けて取り組む。	未済	統合までの2年間に際する学校統合にかかると実施計画について、学事課でとりまとめる。
元	6	定例	本会議	管理部	学事課	風早議員	統合後、中山五月台小学校の里山や体育館などを現在と同様に利用できるよう、また、他市の事例のように施設も含めて有効利用ができるよう検討してもらいたい。	答弁不要	里山を含む統合後の施設の利活用については、引き続き庁内で検討する。	未済	検討中

令和元年(2019年) 6月 市議会要望等事項

令和元年	6月	定例臨時の別	議会の種別	担当部	担当課	議員名	要望事項	答弁(要点記述)	説明 課題、問題点、今後の方針	処理状況	未済の場合その処理状況
元	6	定例	本会議	管理部	学事課	江原議員	良元幼稚園にエアコンを整備したのは、廃園後の施設活用のためだと聞いたが、どういふことなのか。	保育環境の整備のために近年続く猛暑対策の一環として、園の統廃合に関係なく、本年度、市立幼稚園全園にエアコンを設置した。したがって、次の展開を想定したものではない。閉園後のエアコンは、別の施設に移設するなど、有効に活用する。	園を通して正しい情報を伝える。	済	
元	6	定例	本会議	社会教育部	中央図書館	藤岡議員	子どもの読書活動の更なる推進のため、ブックスタート事業のフォローアップとして、セカンドブックの配布を実施するべきである。	関係者と協議し、簡単な物語が理解できる年齢として効果的な時期での実施に向けて、他市の事例を参考に前向きに検討する。	事業の実現に向けて、対象年齢、実施方法、予算等について今年度中に結論を出し、早期の実施を目指す。	未済	令和2年度からの実施を目指す。
元	6	定例	本会議	社会教育部	スポーツ振興課	北山議員	宝塚ハーブマラソン大会においては、引き続き参加者の安全を確保し、魅力ある大会を目指して欲しい。	昨年度の大会における不手際について、反省と教訓に立ち、対策を講じる。特に参加者の安全面において、コースの警備強化に努める。	答弁に同じ	済	

